

平成25年度第2回美術館協議会次第

日時 平成26年3月4日（火）13時30分～

会場 県立美術館 総合実習室

開会

- 1 委嘱状交付
- 2 学術文化財課長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 館長あいさつ
- 5 議事
 - (1) 平成25年度事業実績について
 - (2) 平成26年度事業計画について
 - (3) その他

閉会

山梨県立美術館協議会資料

平成26年3月4日(火)

山梨県立美術館

目 次

ページ

<u>山梨県立美術館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県立美術館活動報告(概要)</u>	2
<u>観覧者数の推移</u>	3
<u>施設利用者の状況</u>	4
<u>平成26年度特別展概要</u>	5
<u>教育課程の実施状況について</u>	6
<u>指定管理者活動報告</u>	10

山梨県立美術館協議会委員名簿

任期:平成24年10月1日～平成26年9月30日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	市川 清	山梨県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 (富士吉田市教育委員)
"	宇野 五千雄	山梨県社会教育委員連絡協議会代表	社会教育関係 (笛吹市社会教育委員)
"	秋山 弘	ミュージアム甲斐・ネットワーク(美術)代表	学識経験者 (春仙美術館事務局長)
"	鶴田 一香	山梨県文化協会連合会代表	学識経験者 (山梨県文化協会連合会会長)
"	古屋 知子	山梨県立美術館協力会代表	学識経験者 (山梨県立美術館協力会代表)
"	須田 國生	山梨県美術協会代表	学識経験者 (山梨県美術協会代表)
"	大村 智	山梨県総合理工学研究機構代表	学識経験者 (山梨県総合理工学研究機構御代顧問)
"	野口 英一	報道関係	学識経験者 (山梨放送・山梨日日新聞社社長)
"	金丸 康信	報道関係	学識経験者 (テレビ山梨代表取締役社長)
"	堀田 一朗	報道関係	学識経験者 (NHK甲府放送局局長)
"	植松 増美	企業関係	学識経験者 (アサヒビール株式会社名誉顧問)
"	甲斐 陽子	公募委員	家庭教育関係者 (主婦)
"	佐々木 晶美	公募委員	家庭教育関係者 (主婦)
任命	齊藤 文栄	山梨県公立小中学校長会代表	学校教育関係 (笛吹市立一宮北小学校校長)
"	阿部 邦彦	山梨県高等学校長協会代表	学校教育関係 (県立甲府昭和高等学校校長)

山梨県立美術館活動報告（概要） 平成25年度 後期並びに26年度前期

美術館活動における長期目標

○県民の美術に関する知識・教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため以下のような長期目標を掲げる。

- 【展示／見る】幅広いジャンルでの質の高い特別展示とともに「西洋美術」「山梨ゆかりの美術」「日本の近現代美術」などのコレクションを使った常設企画展示の一層の充実を図る。
- 【教育普及／学ぶ】生涯学習の進展や教育課程における総合学習の充実化にともない、より多様な学習機会の提供を行う。
- 【付加価値・魅力／憩う】本来の美術館機能に加え、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行う。

平成25年度下期の活動の状況

【展示／見る】
〈常設展〉
○国文祭の開催に合わせ、ジャン＝フランソワ・ミレーとバルビゾン派の作品を県外に集中的にアピールし、これを館最大の魅力として集客。

- ・多様な来館者ニーズに応え、幅広いジャンルの特別展や魅力ある常設企画展を開催する。
 - ・これまでの常設展のイメージを一新した年4回の企画展示を行う。
- 「ミレー館」の開設以降、集客を維持するための魅力を改めて県外にPRするための積極的な広報活動の実施（県観光部、国文祭課、JR東日本・JR東海・山梨交通・甲府市観光協会・甲斐市観光課などとの連携）。大手旅行会社との連携による旅行ツアーにより顧客確保の増進に努めた。（京都信用金庫から12,000人）コレクションを利用したスペシャル展示として、「美術館からのクリスマス・プレゼント&お年玉企画展「動物物語」を開催し、親子で楽しめる新たな常設展示の見せ方を行なった。

12月14日（土）～平成26年1月19日（日）

〈特別展〉 25年度下期は国文祭とも連動した、以下の展覧会を実施。
○日本のわざと美 9月7日（土）～10月14日（日）
○生誕百年 萩原英雄展 10月26日（土）～12月8日（日）
日曜美術館本番組に取り上げられるなど、大きな話題となった。

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。
県民のニーズに対応した美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや高齢者障がい者への実技講座やレクチャーなどの実施。
学校教育と対応して、児童生徒への鑑賞・実技指導を実施。また、学校教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深めた。
美術館から職員が外に出て、様々な会場でのワークショップや授業、鑑賞研修会などを実施。

〈活動内容〉
・キッズプログラム（小中高校生対応） ・校外学習対応展示室での鑑賞、実技体験及び職場体験授業
・学校への出前授業 ・アートボックス貸出し ・施設の貸出 ・造形広場 ・創作教室
・みんなで作る美術館（みなび展）の実施 ・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座
・ことぶき勸学院への協力 ・ギャラリー・トーク ・映画会
・美術体験・実技講座（初心者・障がい者含む） ・県民ギャラリー利用者の創作活動PR支援

【付加価値・魅力／憩う】〈魅力あふれる美術館をめざして〉
〈質の高いサービス提供〉
・美術館ボランティアのスキルアップをめざして研修・学習会を実施。

〈様々な付加価値の創造〉
・地元音楽家・団体や学校現場との協働によるロビーコンサートを毎週日曜日に開催。（ゴールデンウィーク期間中は毎日開催）（SPS）
・レストランサービスの向上をめざして運営企業と情報交換・協議。
・ミュージアム甲斐イン券並びに定期観覧券所持者への割引サービス。売店、レストラン。
・首都圏からの来館者増を目的に、中央紙への広告の掲載。（SPS）
・芸術文化のまちづくりでNPOを支援＝貢川アートフェスタ後援

〈県・指定管理者・県民との円滑なリレーションシップ〉
・本美術館の特色・魅力を十分に伝えられる情報発信・積極的な広報とパブリシティの実施。
・展覧会事業を報道機関と共催、県民への情報提供の機会を大幅に増やすことができた。
・新たな集客に向け、アンケートによる調査などを積極的に取り入れ、県民ニーズの把握に努める。

中期目標と平成26年度の具体的活動予定

1. 戦後山梨の美術を再検証するとともに、郷土関係作家の新たな展覧会を企画立案する。
2. アンケート調査などを取り入れ、県民ニーズ等の把握に積極的に取り組み集客力の向上を図る。

- 広報活動の強化
- 観光とのタイアップ

【展示／見る】
・開催趣旨と目標（集客、研究、人気もの etc）を明確にした企画展の開催と、リピーターとして何度も美術館に行きたくするような常設企画の魅力ある展示のあらたな創出を図る。

〈常設展〉従来の常設展のイメージを一新した展示空間の創作に心がけ、テーマ展示や企画コーナーを設けるなど、新たな魅力ある展示を行う。
・常設展示室（ミレー館・常設展示Ⅱ・萩原記念室）を使った年4回の常設企画展示替えを実施。
・学芸員それぞれの個性を生かしたテーマ展示や新設コーナーを設け、特別展のようなタイトルを付けるなど、興味を持って鑑賞してもらえよう精一杯の工夫や配慮をする。
・萩原記念室の模様替え（萩原英雄の人となりや生涯に描いた作品を主体に展示）。

〈特別展〉
○開館35周年とミレー生誕200年の記念年を有意義に活用し、全国に向け山梨県美を再アピールする。

- ・キネティックアート 動く、光る、魔法の芸術 4月26日（土）～6月15日（日）
- ・生誕200年 ミレー展 ～愛しきものたちへのまなざし～ 7月19日（土）～8月31日（日）
- ・山梨の美術 四人の革新者たち 四十年の奇跡 9月20日（土）～11月3日（月・祝）
- ・大阪新美術館コレクション 佐伯祐三とパリ ポスターのある街角 11月15日（土）～1月18日（日）

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。
・アート・カードを導入した、新たな作品鑑賞の「見るヒント」「感じるヒント」の一助になる実践を紹介。
・県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや障がい者への実技講座なども実施していく。
・教育現場と連携して、年齢ごとの学びの場として会場を提供し、キャリア教育等にも活かしていく。
・学校教育と対応して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校の教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。

〈活動内容〉
「博学連携を中心とした学校・社会教育施設との連携強化」
・キッズプログラム（小中高校生対応） ・映画会 ・職場体験授業 ・校外学習への対応（オリエンテーション、展示室での鑑賞、実技体験） ・ギャラリートーク ・学校への出張授業 ・アートボックス貸出し
・施設の貸出 ・創作教室 ・造形広場 ・みんなで作る美術館（みなび） ・教師のための鑑賞研究会
・大人のための美術講座 ・美術体験・実技講座（初心者・障がい者含む） ・ギャラリートーク
・県民ギャラリー利用者への活動PR支援・ことぶき勸学院への協力 ・アート・カードの貸し出し

「地域との連携強化」
・甲府市並びに甲斐市との連携の強化。
・美術館周辺校との連携（新田小学校の総合学習の時間を利用したギャラリー・トークの実施）。

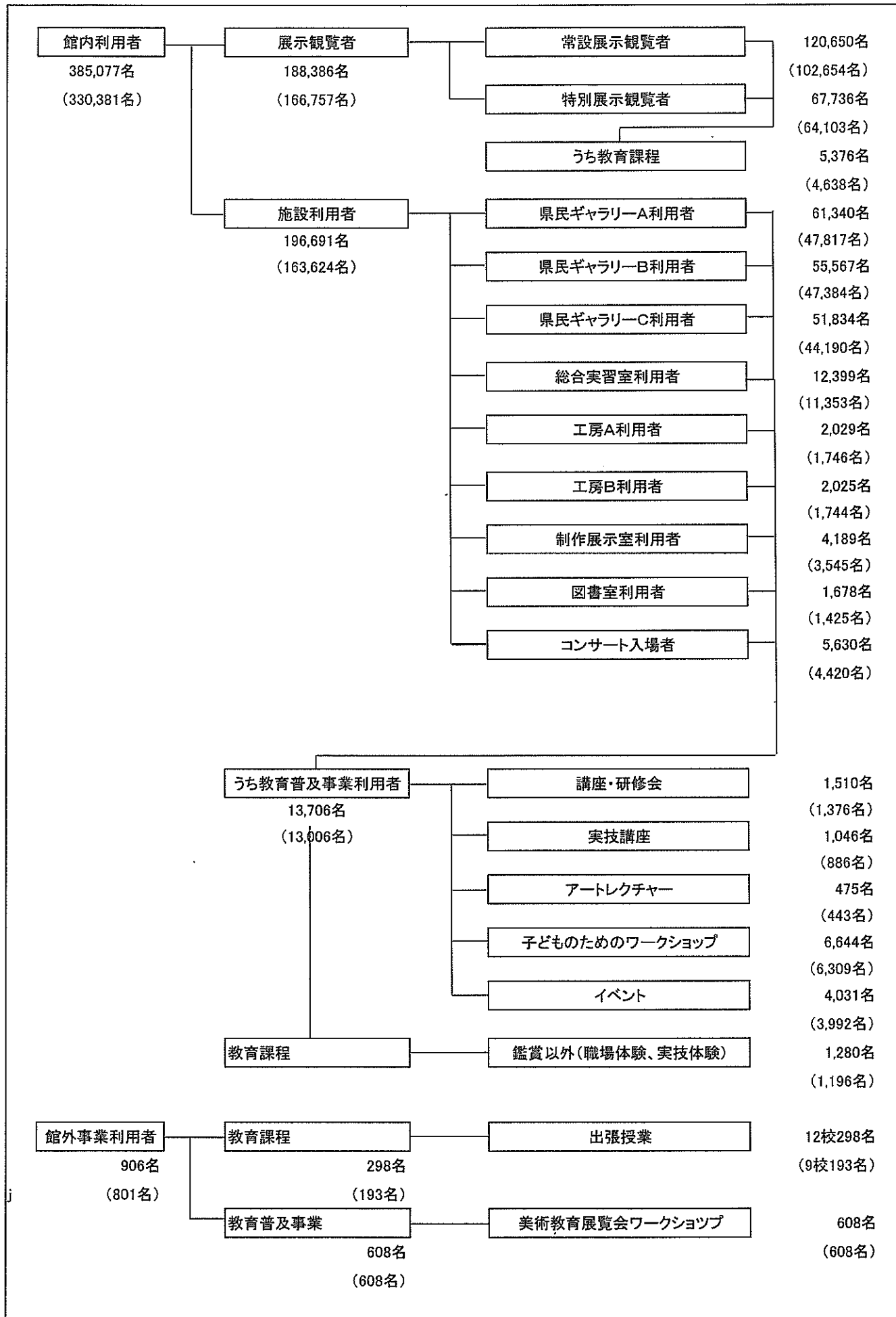
【付加価値・魅力／憩う】美術館への好感度向上をめざして、さまざまな取り組みを実施。
質の高いサービスを提供するため、研修の強化などを行い、引き続き美術館ボランティア（案内、解説、情報 etc.）のスキルアップに務める。

様々な付加価値の創造に継続して取り組む。
・地元音楽家・団体、学校のコーラス部との協働による週末のロビーコンサートや小イベントを継続して実施。 ・無料シャトルバスの運行10月～11月（日曜）と11月3日、11月20日（SPS）
・ミュージアムショップでの楽しい買い物に向けて、魅力ある新商品の開発等を実施。
県民との円滑なリレーションシップを目指して、本美術館の特色・魅力をしっかりと情報発信。
・やまなしの文化情報ネットワークやノウハウを最大限活用した積極的な広報とパブリシティの実施。

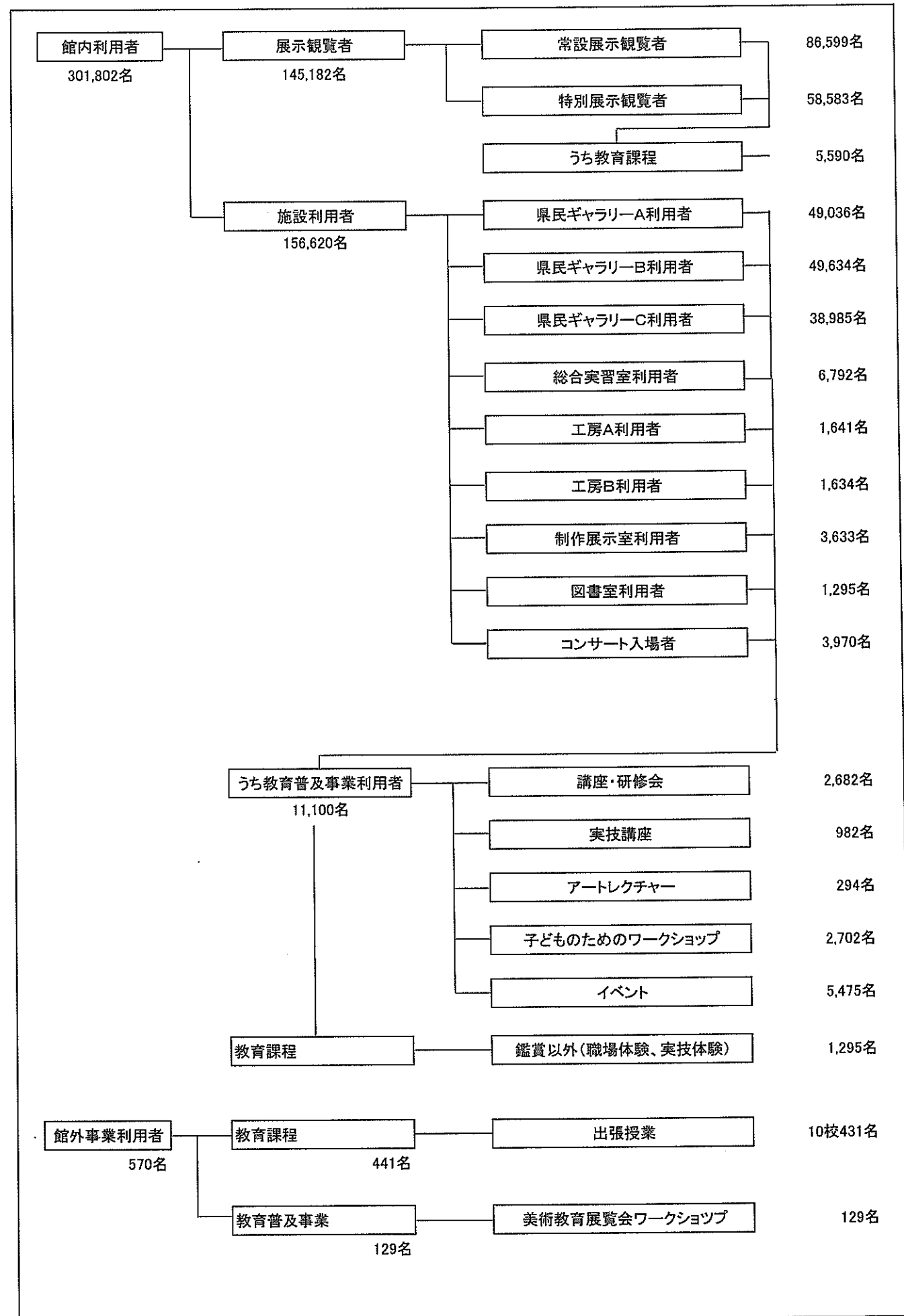
▶▶▶▶▶▶これらの取り組みを着実に進めて、より多くの県民の来館に結びつける。

美術館における「利用者」の状況

平成24年度実績。()は1月末現在



平成26年1月末現在



○美術館の利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

山梨県立美術館 常設展・特別展観覧者の推移

年度	開館日数	常設展	特別展	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,083	174,333
22	310	98,986	61,123	160,109
23	310	103,181	84,090	187,271
24	311	120,650	67,736	188,386
25	264	86,763	58,583	145,346
計	10,523	9,199,770	3,369,721	12,569,491

月別集計数(平成24年度)

常設展

月	開館日数	観覧者数
4	26	9,094
5	27	11,748
6	27	9,951
7	27	8,256
8	28	14,126
9	27	10,216
10	27	11,142
11	28	16,121
12	24	3,415
1	26	8,576
2	24	12,082
3	20	5,923
1月まで計	267	102,645
年度計	311	120,650

月別集計数(平成25年度)

常設展

月	開館日数	観覧者数	
4	26	6,857	75%
5	27	8,678	74%
6	26	7,863	79%
7	26	7,267	88%
8	28	12,533	89%
9	25	8,239	81%
10	28	9,717	87%
11	28	13,520	84%
12	24	4,206	123%
1	26	7,883	92%
2			0%
3			0%
計	264	86,763	85%

特別展 (H24年度)

展覧会名	開催日数	観覧者数
新収蔵品展	13	3,051
ローランサン	52	15,244
増田誠	63	15,770
大倉集古	41	23,442
十一屋	48	9,651
新収蔵品展	2	578
	219	67,736

特別展 (H26年1月まで)

展覧会名	開催日数	観覧者数
H24新収蔵品	12	2,504
望月春江展	39	9,316
やまなしの美術館大企画Ⅱ	14	4,481
ハーグ展	39	13,964
日本のわざと美展	33	9,554
生誕100年 萩原英雄展	41	12,070
クリスマス会お年玉企画展 動物ものがたり	29	6,694
H25年新収蔵品		
	207	58,583

平成26年度山梨県立美術館特別展概要

名 称	動く！光る？魔法の芸術 キネティック・アート	生誕200年 ミレー展 ～愛しきものたちへのまなざし～	四人の革新者たち 山梨の美術 四十年の軌跡(仮称)	大阪新美術館コレクション 佐伯祐三とパリ —ポスターのある街角—
会期	2014年4月26日(土)～6月15日(日)	2014年7月19日(土)～8月31日(日)	2014年9月20日(日)～11月3日(月・祝)	2014年11月15日(土)～2015年1月18日(日)
展示内容	<p>キネティック・アートとは「動く芸術」という意味で、機械じかけで動いたり、時間の経過とともに形が変化したり、光を使った作品をさします。また錯視(目の錯覚)を利用した作品も含まれます。</p> <p>キネティック・アートは、1950年代後半から60年代にかけて、ヨーロッパで盛んに制作されました。社会や生活の変化に伴い、「動き」や「時間」そしてテクノロジーと密接に関わる新しい芸術が求められたのです。動きや光に注目したキネティック・アートの表現は、現代のメディア・アートに繋がります。</p> <p>本展では、ブルーノ・ムナリー、ジャンニ・コロンボらイタリアの作家を中心に、ジョセフ・アルバース、ヴィクトル・ヴァザルリ、ラファエル・ソトなどの作品を含めた、日本初公開の約90点の作品を紹介します。</p>	<p>2014年は、ジャン＝フランソワ・ミレー(1814-1875)の生誕200年となる年です。本展はこれを記念し、フランス、アメリカ他、海外の優品に、国内所蔵作品の名品を加え、ミレーの作品世界を紹介することをご紹介します。</p> <p>初期から晩年までのミレーの画業を通観するとともに、これまでいわゆる「農民画」の周辺作品と捉えられがちであった、家族の肖像、生活の情景や風景を描いた作品にも改めて焦点をあて、画家ミレーの全貌を捉え直します。また本展では、日本初公開の作品もお楽しみいただけます。</p>	<p>山梨県立美術館では、1984年から1998年の間ビエナンナーレ形式(隔年)により、14年間で8回の県出身、関係作家たちを対象に選抜展を開催しました。そこから、国内外を超えて活躍する多くの現代美術作家を輩出し、山梨の戦後現代美術を総括する上で重要な展覧会となりました。</p> <p>本展では、その後の作家活動が特に顕著な作家たちの消息を追いながら、時代やジャンルなどのテーマを設定し、山梨の現代作家の歴史的な検証とそれぞれの作家の代表作を紹介します。</p>	<p>30歳の若さで夭折(ようせつ)した天才画家、佐伯祐三(1898-1928)の、短くも鮮烈な画業を回顧します。</p> <p>佐伯は、東京美術学校卒業後に渡仏し、フォービズムの大家ヴラマンクに「アカデミック！」と作品を批判されたことをきっかけに、自らの作風を模索し始め、パリの石造りの建物やポスターが貼られた壁にモチーフを見出し、独自の様式を確立しました。</p> <p>本展では、フランス滞在中に制作された佐伯作品に加え、佐伯と交流のあった同時代の画家の作品や当時のパリの雰囲気伝えるポスターを展示し、佐伯が魅せられた芸術の都パリの息吹を紹介します。</p>
画像				
キャプション	フランコ・グリニャーニ《波の接合33》 1965年	ジャン＝フランソワ・ミレー《子どもたちに食事を与える女(ついでばみ)》1860年	深沢軍治《蓋(地上にて)》1985年	佐伯祐三《レストラン(オテル・デュ・マルシェ)》 1927年

○キッズプログラム

親子のアートレクチャー・あつまれ美術探検隊

特別展ごとに実施

小学生向けを主として実施。家族も一緒に楽しめる内容。

H24 低学年向け、高学年向け 別の日に開催→H25 同時開催、2グループ定員を増やして実施
各回の参加者が増加した。H26 親子・あつまれ美術探検隊名称変更→特別展ごと内容がわかる名称へ

親子で美術館を楽しむ会

11月3日美術館の誕生日に、常設展につながる内容で実施。小学生がいる家族向け。

ミレーの「鶏にえさをやる女」を展示室で鑑賞。絵の中の衣食住に着目しながら、学芸員とフランス人講師（国際交流課職員）と対話しながら、知ったり見たり感じたりすることができる内容にした。

この日は、県内のイベントが多い日ではあるが、参加者にはとても好評。

H26常設展の鑑賞を中心とした企画を考えていきたい。

○みんなでつくる美術館

地域とつながる。人とつながる。素材とつながる。などを意識して、9回のワークショップを実施。

街なか楽書展では、オリオン通りアーケードで実施。書家の講師をお願いした。

大学で、大学生と一緒に実施。館内で、作家さんと一緒に実施。各回100名を上回る参加者。

参加型展覧会。展覧会中に展示室内でWSを実施。少しずつ継続させ、展覧会に来館した人たちが完成させる内容も取り入れた。演劇をしている方を講師に迎え影絵などの身体表現を実施。

ボランティア参加も意識し、多くの人にボランティア協力していただいた。

障がい者向けワークショップも参加者が増加。

H26 WS、展示をミレー展を意識した内容。障がい者が参加しやすい内容も工夫する予定。

○夏休みワークショップ

博物館実習と連携した形で実施。

バックヤード、仕事体験、大学生のギャラリートークと盛りだくさんの内容ではあるが、参加者がやや減少傾向。

H26 廃止。中、高、大学生向けワークショップとして実施（小学生向けH27以降検討）。

○造形広場

幼児、小学校低学年の参加者が多い。最近では、幼児の比率のほうがやや増加。参加受け入れ人数を大幅に毎回超えているので、運営方法を工夫しながら受け入れている。

H26 安全面に配慮し実施。定員100人。

○創作教室

小学校から、大人までじっくり制作。作家を講師に迎え実施。

特別展「動物ものがたり」展関連、出品作家 本杉氏のワークショップを実施。申込締切日待たず定員。

H26 特別展「佐伯祐三」展にて、同時期開催予定。

○各展覧会関連ワークショップ

特別展ごとに、大人向け、子ども向けを必要に応じて実施。

展覧会にからめて実施。参加者からの要望も多く、今後、年間計画に入れて実施したい。

H26 展覧会ごとに、対象者を変えて実施予定。

○美術体験講座

協力会ボランティアとして、講座参加がきっかけで、活躍している人も多い。生涯教育の場。

H26 特別展とリンクした内容になるように計画。現代美術が充実。

障がい者のための美術体験講座は、保育園、特別支援学校、障がい者施設の方が同じ空間で、作品作りを通して交流できる場である。さらに、内容、回を充実させたい。

H26みんなで作る美術館と連携し、障がい者が参加しやすい障がい者向けワークショップを講師を依頼し実施予定。

○博学連携事業

教師のための鑑賞研修会

開催内容、時間帯を昨年度までと変えて実施。教育普及事業の説明や鑑賞教育への提案の場も加えた。

H26アートカード活用方法について説明の場も加え実施。

鑑賞研修会受入

ロコミでの利用が増加。先生方のニーズにあわせ連携できるように実施。

教育課程による来館

学校規模縮小、生徒数減、で人数は年々減ってはいるものの、利用件数は、わずかながら上昇している。

年間カリキュラムに美術館鑑賞を入れ、全校が美術館に来館してくれる学校が新規連携1校。

近隣の学校がとの連携を深めて、年間数回利用がみられるようになった。

高校の利用が極端に少ない。→H26 部活動での利用をよびかける。

教材貸し出し

アートボックス版画、日本画、種をまく人衣装等、HPや教育普及事業の中での広報により、問い合わせ、利用者が増加。H26人気が高いアートボックスについては、個数を増加予定。

H25アートカードを作成→H26貸し出し開始。

手でみるミレー

貸し出し需要ができたので、ボランティア小中学生育成（放課後びじゅつかんくらぶ）で、視聴覚障害者に手でみるミレーの鑑賞方法やボランティアについて学んだ。→H26手でみるミレー鑑賞補助絵本を支援学校と連携し、作成予定。

出前授業

申し込んだ学校に、授業を実施。

H25アートカードの活用方法、体験。親子活動、学園祭準備。→H26鑑賞活動にかかわる授業を実施。

特別展名	プログラム名	日時	講師	場所	対象・定員	備考
キネティック・アート	講演会	5月11日(日)午後2:00~	谷藤史彦(ふくやま美術館学芸員)	総合実習室	大人	申込不要、無料
	講演会 (大人のための美術講座)	5月25日(日)午後2:00~	茅 暁陽 (山梨大学教授)	総合実習室	大人(高校生以上)	申込不要、無料
	美術体験実技講座 現代美術 「平面模様アン3ブル!」	5月3, 4日(土、日) 午前10時~午後4時	村松俊夫 (山梨大学教授)	工房	中学生以上 定員約20名	申込期間 4月15日~26日 材料費:500円
	ギャラリー・トーク	5月13日(火)午後2:00~ 6月7日(土)午後2:00~		特別展会場	大人	申込不要、特別展チケット
	キッズ・プログラム	5月17日(土) 午前10:00~ 午後2:00~		ワークショップ室 ワークショップ室	中学生 小学生	申込期間
	教師のための鑑賞研究会	5月22日(木)		総合実習室 特別展会場	教員	要申込
	映画会 「甘い生活」	5月24日(土)午後1時30分~		総合実習室		申込不要、無料
生誕200年 ミレー展	みんなでつくる美術館 ワークショップ	6月21日(土)または22日(日) ミレーを知ろう!①	伊藤美輝 山梨学院短期大学保育科	山梨学院短期大学	どなたでも	申込不要、無料
		6月29日(日)午後1:30~ ミレーを知ろう!② 紙芝	松村宏[ゴロ画伯] 美術館職員	総合実習室 (ワークショップ室)		
		7月5日(土)または6日(日) ミレーを知ろう!③	美術館職員	河口湖美術館?		
	みんなでつくる美術館 準備、ボラ研修	7月20日(日)~25日(金)	本杉琉、美術館職員	工房	協力員、ボランティア	
	みんなでつくる美術館 展覧会	7月26日(土)~8月5日(火)		県民ギャラリーC	どなたでも	
	講演会	7月19日(土)		総合実習室	大人	申込不要、無料
四人の革新者たち 山梨の美術	美術体験実技講座 現代美術	9月20日(土)、27日(土)	橋田尚之	工房	中学生以上 定員約20名	申込期間 9月1日~10日
		10月12日(日)・18日(土)・ 19日(日)・26日(日)	河内成幸			8月27日~9月5日
		11月1, 2日(土、日)	(深沢軍治)			10月12日~21日
	教師のための鑑賞研究会	10月7日(火)		総合実習室 特別展会場	教員	要申込
ギャラリー・トーク					申込不要、特別展チケット	
映画会	9月27日(土)午後1時30分~ 10月25日(土)午後1時30分~				申込不要、無料	
佐伯祐三とパリ	講演会		高柳有紀子 (大阪新美術館学芸員)	総合実習室		申込不要、無料
	キッズ・プログラム					要申込
	大人のための美術講座		三井正人 (彫刻家、帝京学園短期大学教授)	特別展示室 工房	大人	要申込
	創作教室	12月20日(土)	三井正人 帝京学園短期大学学生	工房 ワークショップ室		要申込
	美術体験実技講座 油彩画	1月11日(日)・18日(日)・25日(日) ・2月1日(日)午前10時~午後4:00	冨家昭雄(画家)		中学生以上	申込期間 12月11日~20日
	ギャラリー・トーク					申込不要、特別展チケット
	教師のための鑑賞研究会	11月18日(火)			教員	
映画会	11月29日(土)午後1時30分~ 12月20日(土)午後1時30分~				申込不要、無料	
美術館を楽しむ会	11月3日(月)					

平成26年度

造形広場

時間 午後1:30~3:30
場所 ワークショップ室
対象 幼児・小学生
定員 先着100名程度
参加無料・申込不要

5月10日 10月11日 1月31日
6月14日 11月 8日 2月28日
7月12日 12月13日
9月 6日 1月10日 すべて土曜日

身近なものと材料について学びながら作品をつくります。各回のテーマは前月に決まります。

創作教室

場所 ワークショップ室
対象 小学生以上
定員 内容によって変わります
材料費をいただくこともあります
要申し込み

12月20日(土)
「佐伯祐三展(仮)」
展覧会にあわせたワークショップです

※内容、時間、持ち物、対象など直前の変更もあります。
各回の詳細はホームページまたは直前のチラシでご確認ください。

お問い合わせ

〒400-0065 山梨県甲府市貫川 1-4-27
山梨県立美術館 造形広場・創作教室係
TEL 055-228-3322

美術体験・実技講座

様々な美術表現を体験しながら、美術作品の鑑賞の糸口を見つけてみませんか。初めて挑戦される方のための初心者コース、障がい者のための講座、技術を深めてみたい方には実技講座を開設します。

No.	講座名/講師	内容・期間(日時)	申込期間
1	版画 オープン・アトリエ①前期 オープン・アトリエ①後期	版画を専門的に制作している方へ、制作の場所を提供します。 期間：前期4月1日(火)～5月2日(金) 午前9:00～午後4:30 後期：後期5月27日(火)～6月13日(金) 午前9:00～午後4:30 * 作家による指導はありませんが、指導員が初心者の相談にのります。	3月23日～4月20日 後期のみ参加の方は5月16日～25日
2	版画 [スクリーン・プリント] 初心者コース	孔版(スクリーン・プリント/シルクスクリーン)を理解する初心者のための講座です。この初心者コース受講者でNo. 6の[スクリーン・プリント]講座へ進まれる方はこの日にお申込みください。 講座日：4月27日(日) 午前10:00～午後3:30 材料費約800円 * 美術館職員が指導に当たります。	4月11日～19日
3	現代美術 「平面模様アン3プル！」 作家：村松俊夫	特別展「キネティックアート展」関連の講座です。 1つの額の中に3つの絵がチラチラ・ゆらゆら動いて見える！モアレ(干渉波)の効果を活用した、不思議なレリーフ(半立体)作品をつくりましょう。材料費約500円 講座日：5月3、4日(土、日/祝) 午前10:00～午後4:00	4月15日～26日
4	絵画 [日本画]経験者コース 作家：目黒祥元	日本画制作経験があり、自主制作しながら年間4回参加できる方を対象とします。 作家指導日：5月18日(日)・11月22、23日(土、日)・2月22日(日) 午前10:00～午後4:00	4月27日～5月10日
5	絵画 [日本画]初心者コース 作家：目黒祥元	日本画はどのような材料を使って描くのでしょうか。時間をかけ日本画の初歩を学びます。初回はオリエンテーションのみで2回目以降本格的な制作に入ります。 作家指導日：①5月18日(日)午後3:00～4:30 材料の説明と今後の準備 ②11月16日(日)11月22、23日(土、日)・2月22日(日) 午前10:00～午後4:00	4月27日～5月10日
6	版画 [スクリーン・プリント] 作家：山口純寛	スクリーン・プリント(シルクスクリーン)で自分なりの作品を創ってみませんか。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 作家指導日：5月24、25日(土、日) 午前9:10～午後4:30 * 材料購入希望者は4月27日(日)午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	4月11日～19日
7	障がい者のための講座 色や形を楽しもう！①	[みなび(みんなで作る美術館)]の1つです。 講座日：6月18日(水)①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00 * 美術館職員が指導に当たります。上記の①②から希望の時間を選んでください。 ご希望があれば保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体で参加できます	施設・園、学校など団体参加の場合のみ事前にご連絡ください。
8	版画 [木版画] 初心者コース	木版画に触れる初心者のための講座です。単色木版画を制作します。この初心者コース受講者でNo.10の[木版画]講座へ進まれる方はこの日にお申込みください。 講座日：9月14日(日) 午前10:00～午後3:30 * 美術館職員が指導に当たります。	8月27日～9月5日
9	現代美術 「〇〇〇」 作家：橘田尚之	期間：9月20日(土)～27日(土) 材料費 未定 作家指導日：9月20日(土)・27日(土) 午前10:00～午後4:00	9月1日～10日
10	版画 [木版画] 作家：河内成幸	本格的な多色木版画に挑戦します。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 期間：10月12日(日)～26日(日) 作家指導日：10月12日(日)・18日(土)・19日(日)・26日(日) 午前10:00～午後4:00 * 材料購入希望者は9月14日(日)午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	8月27日～9月5日
11	版画 オープン・アトリエ②	木版画をさらに深めたい方、版画を専門的に制作している方へ、制作の場所を提供します。木版画講座へ申し込まれた方は、講座期間中にお申し込みください。 期間：10月27日(月)～11月12日(水) 午前9:00～午後4:30 * 作家による指導はありませんが、指導員が初心者の相談にのります。	10月17日～26日
12	現代美術 「〇〇〇」 作家：深沢暉治	作家指導日：11月1、2日(土、日) 午前10:00～午後4:00	10月12日～21日

13	障がい者のための講座 色や形を楽しもう！②	色んな形と色を使って遊んでみましょう。 講座日：12月3日(水)①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00 * 美術館職員が指導に当たります。 ご希望があれば保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体で参加できます	施設・園、学校など団体参加の場合のみ事前にご連絡ください。
14	絵画 [油彩画] 作家：冨家昭雄	作家の制作に対する考えをうかがいながら、技法の指導を受け制作します。 期間：1月11日(日)～2月1日(日) 作家指導日：1月11日(日)・18日(日)・25日(日)・2月1日(日) 午前10:00～午後4:00	12月11日～20日
15	オープン・アトリエ (版画以外)	油彩、水彩、日本画、デッサン、彫刻など、自由に制作できる場所を提供します。 期間：2月3日(火)～3月1日(日) 午前9:00～午後4:30 * 作家による指導はありません。	1月22日～2月1日

注意事項

- ★中学生以上対象。定員は約20名。初めて講座を受けられる方が優先です。
- 初めての方が多数の場合は、申込期間内に受け付けた方から抽選させていただきます。
- ★障がい者のための講座受講希望者は申し込みの必要はありません。特別に配慮の必要な障がいをおもちの方や、施設、園、学校など団体で参加される場合のみ事前にご連絡ください。
- ★全くの初心者、ちょっと経験してみたいという方は、初心者コースをご利用ください。
- ★作家指導日に欠席がわかっている方は申し込みをご遠慮ください。また、遅刻早退無しが前提です。
- ★基本的に講座期間中は休館日を除いて、毎日午前9:30から午後4:30まで自主制作することが出来ます。ただし日本画は11月の期間のみです。
- ★受講料は無料です。ただし、別途材料費を必要とする講座もあります。
- ★必要な用具・材料は通知(返信はがき)をご覧になり、各自ご用意ください。
- ★版画オープンアトリエをご利用の方は、インク、薬品等の共用品代が必要になります。別途お知らせします。
- ★講座終了日には大掃除がありますのでご協力ください。

申し込み方法

往復はがきでお申し込みください。
 往信面に ①講座名 ②〒・住所 ③氏名・年齢(学生の場合は学校名・学年)
 ④電話番号(FAX番号も) ⑤経験の有無を記入してください。
 返信面には申込者の〒・住所・氏名を必ず記入してください。
 ※申し込まれた方の個人情報は、本事業のみを目的とし、当館で適切に管理します。

申し込み先

山梨県立美術館「美術体験・実技講座」係
 〒400-0065 甲府市賈川1-4-27
 TEL 055-228-3322(代表) Fax 055-228-3418(学芸課直通)

協力員もご自身が受講される場合は、一般と同様にお申し込みください。

平成26年度 教師のための鑑賞研究会（予定）

	研究会名（会期）・実施内容	実施日時
1	動く！光る？魔法の芸術 キネティック・アート展 (4月26日～6月15日) キネティック・アート（動く芸術）とは、機械じかけで動いたり、光ったり、錯視を利用した作品をさします。本展では、ブルーノ・ムナーリ、ジャン・コロンボらイタリアの作家を中心に約90点を展示します。	5月22日（木） 午後4時～5時
2	アートカード「みるえ」 生まれたての鑑賞教材、山梨県立美術館アートカード「みるえ」に実際に触れていただいたり、実践校における子どもたちの様子を見ていただきます。専門の先生はもちろん、教科外の先生方、特に図工美術の鑑賞指導に興味や悩みを持つ先生方、この教材に是非触れてみてください。言語活用能力の育成にも役立ちます。	6月3日（火） 午後4時～5時
3	生誕200年 ミレー展 ～愛しきものたちへのまなざし～ (7月19日～8月31日) 平成26（2014）年は、ジャン＝フランソワ・ミレー（1814-1875）の生誕200年にあたる年となります。本展はこれを記念し、フランス、アメリカ他、海外の所在の優品に、国内所蔵作品の名品を加え、ミレーの作品世界を紹介します。	8月1日（金） 午後4時～5時
4	生誕200年 ミレー展&アートカード 前半部分ではアートカード「みるえ」についての研修会を行い、後半は「生誕200年 ミレー展 ～愛しきものたちへのまなざし～」についての研修を行います。夏季休業中の研修・研鑽にご利用ください。	8月7日（木） 午後3時～5時
5	四人の革新者たち ―山梨の現代美術 四十年の軌跡― (9月20日～11月3日) 山梨県立美術館では、1984年から1998年の間県出身の新進気鋭の作家たちを対象に選抜展を開催しました。本展では、その後の作家活動が特に顕著な作家たちの消息を追いながら、時代やジャンルなどのテーマを設定し、山梨の現代作家の歴史的な検証とそれぞれの作家の代表作を紹介します。	10月7日（火） 午後4時～5時
6	大阪新美術館コレクション 佐伯祐三とパリ ポスターのある街角 (11月15日～1月18日) 30歳の若さで夭折した天才画家、佐伯祐三（1898-1928）の、短くも鮮烈な画業を回顧します。本展では、フランス滞在中に制作された佐伯作品に加え、佐伯と交流のあった同時代の画家の作品や当時のパリの雰囲気伝えるポスターを展示し、佐伯が魅せられた芸術の都パリの息吹を紹介します。	11月18日（火） 午後4時～5時

山梨県立美術館 教育普及担当 井上 五味
Tel055-228-3258 Fax 055-228-3418

アートレクチャー及び鑑賞研究会の開催

平成26年度 山梨県立美術館

		鑑賞研究会開催日時
1	中学生（高校生）のためのアートレクチャー 学校の美術部等のために、随時特別展のアートレクチャーをします。ご希望がありましたら、ご相談下さい。	土曜日及び学校の長期休業中
2	校内研究としての鑑賞研究会 学校の研修にあわせ、鑑賞研究会を開きませんか。ご希望がありましたら、ご相談下さい。	学校の長期休業中
3	教育協議会等の研修 図工や美術の実技指導研修や鑑賞指導研修に美術館を使いませんか。	随時受け付け
4	総合的な学習の時間・校外学習・職場体験 選択の授業でも利用できます。 アートボックスをもって出前授業にいきます。 修学旅行の事前学習や版画の導入にいかがですか。	随時受け付け
5	アートボックスの貸出し 日本画・版画・テンペラ・フレスコ・パステル 油絵等本物の作家作品が入っています。 小学生用もあります。（アクリル板での色の混色あそび・衣装を着てなりきり《種をまく人》《落ち穂拾い、夏》）	随時受け付け （出前授業も行っております）

- * 上記の他、ご希望により研究会を計画することも可能です。
- * 美術科だけでなく、広く多くの先生方に活用していただきたいと願っています。
- * お気軽にご相談下さい。

山梨県立美術館 教育普及担当 井上 五味
Tel055-228-3258 Fax 055-228-3418

指定管理者活動トピックス 【1-1】賑わいの創出

学芸課との協働

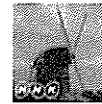
美術館特別展の広報として、学芸課と協働してNHK「日曜美術館」での放映を獲得。「オランダハーグ派展」はアートシーンの冒頭、「萩原英雄展」は本編で取り上げてもらう事が出来た。両展覧会とも、来館のきっかけとしてテレビ放映が非常に有効であったというアンケート結果も出ており、展覧会観覧者数も目標達成となった。

日曜美術館

ETV 毎週日曜 あさ9:00~10:00
【再放送】毎週日曜 よる8:00~9:00



7月13日～8月25日



近代自然主義絵画の成立
オランダ・ハーグ派展
山梨県立美術館
【巡回】
8月31日～10月14日：新潟県立近代美術館
10月19日～12月23日：ひろしま美術館
2014年1月4日～2月16日：下関市立美術館
2014年2月22日～3月29日：徳山市立美術館
2014年4月19日～6月29日：横浜・日本・東郷青児美術館
※巡回先によって展示作品が異なります
画題：ヤン・ヘンリック・ヴァイセンホルフ
「リックアール」(部分)1579
所蔵：Collection Gemeentemuseum Den Haag, The Hague, The Netherlands

来年開催される予定の「ミレー展」も取り上げてもらえるよう
学芸課と協働で打診中

1

指定管理者活動トピックス 【1-3】賑わいの創出

無料シャトルバスの運行

秋の行楽シーズンの集客を目的に、無料シャトルバスを運行。地元企業の山梨交通の協力のもと、両館の展覧会日程にあわせ、9月から11月にかけての日曜日を中心に運行。様々な媒体で事前に告知したこともあり、前年を大きく上回る利用者を獲得できた。



平成25年度 甲府駅～山梨県立美術館シャトルバス 乗車実績

	甲府発		美術館発		日合計	
	計	24年度	計	24年度	25年度	24年度
9月8日	30		65		95	
9月15日	30		58		88	
9月22日	88		101		189	
9月29日	19	45	41	85	60	130
10月6日	50	34	88	68	138	102
10月13日	40	56	81	64	121	120
10月20日	16	45	60	53	76	98
10月27日	56	19	87	52	143	71
11月3日	67	36	99	61	166	97
11月10日	37	44	76	116	113	160
11月17日	89	62	125	94	214	156
11月20日	104	78	148	127	252	205
11月24日	46	74	86	120	132	194
計	672	493	1115	840	1787	1333

3

指定管理者活動トピックス 【1-2】賑わいの創出

展覧会関連事業

美術館特別展「日本のわざと美展」の関連事業として、記念コンサート(9/23)を実施。人間国宝と重要無形文化財の保持者と保持団体の「わざ」に着目し、日本古来の伝統音楽を現在に伝える「山梨県神道雅楽会」の皆様にご出演いただきました。演奏だけでなく雅楽の歴史や楽器についても詳しくご紹介いただくなど、伝統文化の奥深さを知っていただくコンサートになりました！



テレビ局2社、新聞社1社に取り上げられ、展覧会のことあわせて紹介してもらいました！

2015.9.17 朝日新聞
雅楽にうっとり 国書展示中の山梨県立美術館で



国書展示中の重要無形文化財「日本のわざと美」が関係している山梨県立美術館(9/23)で開かれた「日本のわざと美」の記念コンサートが、朝日新聞、テレビ朝日、NHKなど各メディアで取り上げられ、展覧会のことあわせて紹介してもらいました。コンサートは朝日新聞社主催で、朝日新聞が協賛しています。朝日新聞は、朝日新聞社主催の「日本のわざと美」が関係している山梨県立美術館(9/23)で開かれた「日本のわざと美」の記念コンサートが、朝日新聞、テレビ朝日、NHKなど各メディアで取り上げられ、展覧会のことあわせて紹介してもらいました。コンサートは朝日新聞社主催で、朝日新聞が協賛しています。

2

指定管理者活動トピックス 【1-4】賑わいの創出

展覧会関連事業「音声ガイド貸出業務」

美術館特別展「動物ものがたり展」の開催にあわせ、指定管理者としてではなく、SPSやまなしとして「音声ガイド貸出業務」を受託。特別展の賑わい創出に繋がった。実施時期：2013年12月14日～2014年1月19日



SPSやまなしとして初めての業務となったが、スタッフ一人ひとりが貸出に伴う作業効率等を工夫しながら進めてくれたお陰で、大きな事故等もなく無事終了。最終的には、全観覧者(6,694名)の30%を超える2,366名に利用いただいた。

4

指定管理者活動トピックス
【1-5】賑わいの創出

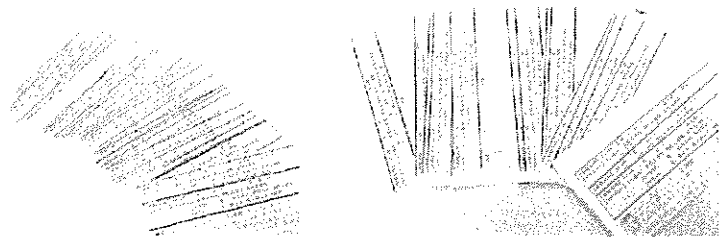
山梨県美 経験デザインプロトタイプ

実施目的

- ◆「来館者増」目的としたプロトタイプを実施
- ◆経験デザインのプロトタイプを実施することにより、デザイン思考を身につけ、日々の業務改善・イノベーションにつなげる

①【デザイン思考を体得する行動観察 ～観察メモ～】

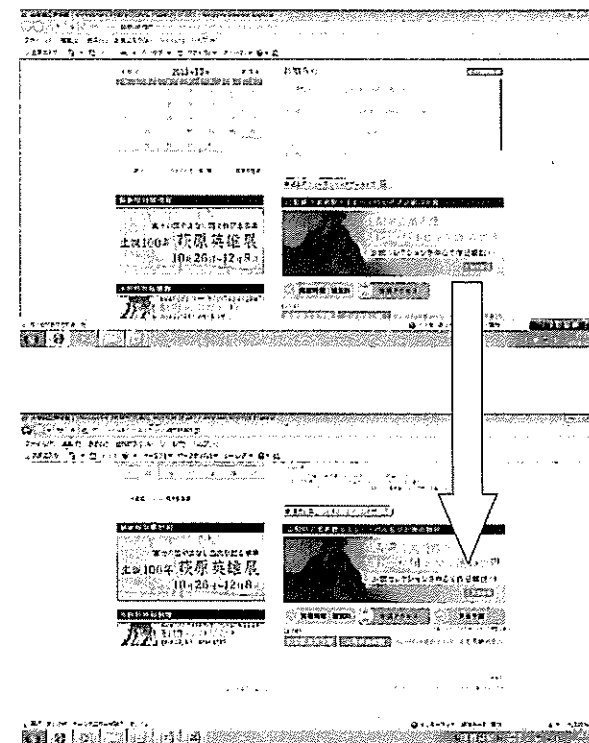
- ミュージアム・アテンダントを中心に来館者の行動をメモに記録
- 観察対象: 20~30代、ファミリー、2人組み
- 実施内容: 対象者の行動(事実)をメモに書き出す
- 収集枚数: 約150枚



5

指定管理者活動トピックス
【1-5】賑わいの創出

【プロトタイプ HP天気予報リンク】



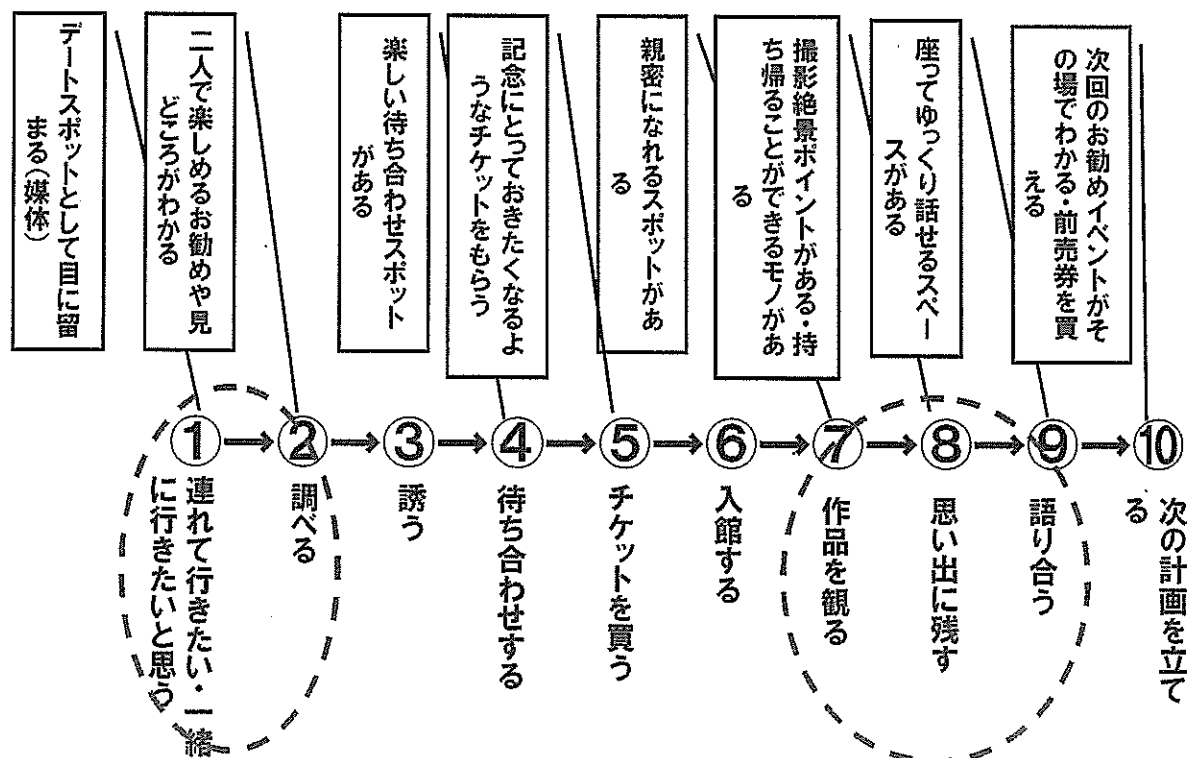
【プロトタイプ 富士山ビューポイント】



7

指定管理者活動トピックス
【1-5】賑わいの創出

②【美術館来館のトータルデザイン】



6

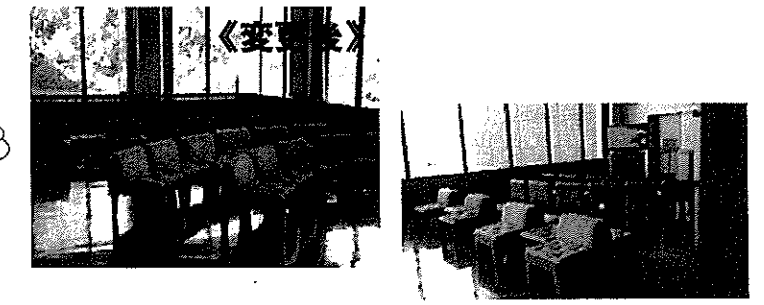
指定管理者活動トピックス
【1-5】賑わいの創出

【プロトタイプ 館内レイアウトロビー編】

テレビに向かってスクール形式

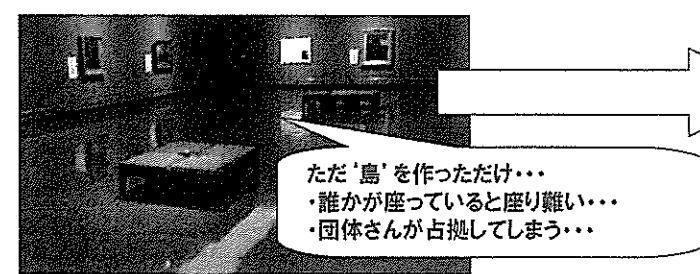


見るスペース・くつろぎスペースに分割



【プロトタイプ 館内レイアウト 展示室内編】

レイアウト変更は学芸さんと共同作業



8

指定管理者活動トピックス
【2-1】サービス向上 ～監視のプロ集団になる～

9月9日(月)スタッフ全体研修
 スタッフ全体研修として、箱根にある「ポーラ美術館」「彫刻の森美術館」を視察。自施設に類似する他施設を視察することで、お客様目線で客観的に自らを振り返る機会とした他、1日を通して団体行動をすることで、対話する機会を増やし、チームワークの醸成を図った。地元企業である山梨交通の協力のもと貸切バスを手配、また美術館学芸課の口添えによりポーラ美術館では学芸員の解説付きで観覧。研修後に提出してもらったアンケートには、一人ひとりに様々な気づきがあったことが伺われる等、有意義な研修となった。



指定管理者活動トピックス
【3】施設の維持管理

光熱費節減対策
 ●節電への継続した取り組み
 事務室の空調管理の徹底・蛍光灯の間引き・池の水入れ中止
 →電気料金単価、燃料調整費の上昇による影響を最小限に抑制

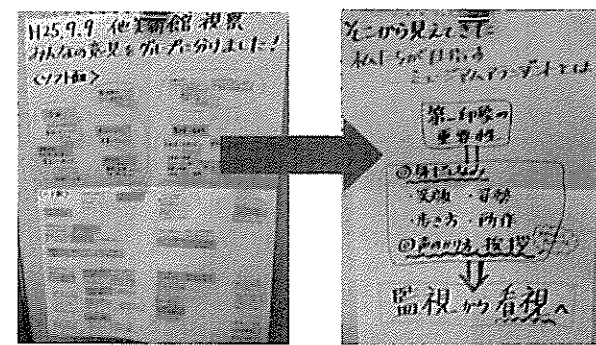
電気使用量・料金 年度比較 単位:kw、千円(税抜)

	電力使用量	電力料金
平成21年度	4,003,056	52,535
平成22年度	3,961,488	53,445
平成23年度	3,461,400	51,677
平成24年度	3,546,048	57,578
2013年実績	3,497,040	66,113

※震災時

指定管理者活動トピックス
【2-2】サービス向上 ～監視のプロ集団になる～

スタッフ活動 ～身だしなみ～
 2013年9月9日、他施設の視察に行った際に、スタッフ達から様々な意見・提案が挙がりました。それをくソフト面><ハード面>にグルーピングしたところ、私達が目指すミュージアム・アテンダントの姿が見えてきました。



第一印象の重要性 → 身だしなみ+声の掛け方、挨拶 → 監視から看視へ

「身だしなみ」活動内容
 スタッフを5チームに分け、『笑顔・姿勢・歩き方・所作』の4テーマについて、朝礼で「美」ポイントを確認し、勤務中は意識して考動する。その際、互いに良いところは褒め合い、アドバイスし合う。また、終礼時に振り返りの時間を設ける。
 ※それぞれのチームで強化する、活動テーマを1週間ごと変更。
 ※誰がどのチームかわかるように、名札にチームカラーのシールを貼付。

強化期間	11-5-11-10	11-11-11-17	11-19-11-24	11-26-12-1
イゴ	所作	歩き方	姿勢	笑顔
レモン	歩き方	姿勢	笑顔	所作
メロン	姿勢	笑顔	所作	歩き方
ブルーハワイ	笑顔	所作	歩き方	姿勢
グループ	笑顔	所作	歩き方	姿勢

強化週間一覧表
 2つの笑顔を使い分けよう
 (良い表情の条件は 目元・口元・心)
 スタンバイスマイル
 スーパースマイル
 西野 NISHINO

「挨拶」活動内容
 お客様やスタッフとすれ違う時は、相手が気持ち良いと感じる挨拶を必ずする。
 ※常勤スタッフが中心となって実施。
 MAスタッフだけでなく、SPSやまなし全体で取り組むことを意識しました。

指定管理者活動トピックス
【4】平成26年度活動方針

県民に「愛される」「足を運びたくなる」施設づくり

賑わいの創出

- 施設の賑わい創出
 ⇒山梨県、周辺地域の賑わいへ
- 施設一体となった「全員広報」の継続
- 「顔の見える」「足で稼ぐ」活動の推進

サービス向上

- 施設全体の「ホスピタリティデザイン」の推進
- 「グループ」ではなく「チーム」として機能する
 キーワードは「対話」「寄添い力」
- SPSが運営する美術館スタンダードの確立・運用

基盤整備

- 新組織体制での安定稼働を実現する
 キーワードは「ムリ・ムダ・ムラ」をなくす
- 「安心・安全」な運営を継続